



# 肥前中学校学力向上アクションプラン

## 1 目 標

基礎・基本を身に付け、自ら考え、主体的に学習に取り組む生徒の育成

校訓 自主・自律

肥前中校区 肥前中・入野小 納所小・田野小 共通した目標	肥前中校区の子どもたちは ☆気持ちのよい あいさつをします ☆810に取り組めます
---------------------------------------	--

※ 810について、

午後8時から10時までは学習に取り組む。家族もそれに協力する。

(→時間を決めて学習に取り組む、家族もそれに協力する。)

## 2 実践目標

- それぞれの教師が、チームワークよく、共通の目標に向かって努力する。
- 学校での取り組みを、生徒・保護者・地域に広報し、理解・協力を求める。

## 3 成果目標

- (1) 生徒一人ひとりが、落ち着いて授業に取り組み、意欲的に活動する。
- (2) 生徒一人ひとりが、向上心を持って努力し、成績も向上する。
- (3) 学校の取り組みに対して、保護者・地域からの協力が得られる。

## 4 現 状

平成17年度から3カ年、学力向上拠点形成事業の指定を受け、生徒の学力向上を目指した取り組みを進めてきた。その成果として、教師の意識の高まりとともに、生徒の学習に対する意欲も向上している。しかし、学習習慣の定着が十分でなく、学力の向上には十分至っていないのが現状である。

各種学力調査において、正答率は、ほとんどが全国、県の平均より下回っており、かなりの努力を要する。

平成21年度の第1回唐津地区基礎学力テストにおいては、合格率(80点以上が合格)、平均点ともに唐津地区の平均をかなり下回っており、かなりの努力を要していた。しかしながら、第2回、第3回の基礎学力テストでは、平均点が85点、合格率70パーセントを上回る教科も出てきており、成績の向上が見られた。

また、平成21年度の調査では、学校以外で2時間以上勉強しているのは、月から金で3年生6.8%（県30.7%）、2年生10.6%（県21.3%）、1年生16.3%（県19.2%）であり、上級生ほど、学習時間が少なく、県の数値よりもさらに下回っている。

## 5 数値目標

全国学力・学習状況調査、佐賀県学習状況調査において、県や全国と同等の正答率を目指していきたいが、現状から考えて、どの教科においても（-5ポイント）を下回らないようにしたい。

（全国や県の平均を100点満点中75点とするならば、肥前中は70点以上）

唐津地区基礎学力テストにおいても、合格者（80点以上）を全体の70パーセント以上、平均85点以上をめざしたい。

また、学校以外での学習時間においては、県の平均を上回るようにしたい。

## 6 アクションⅠ（マナーアップ）

・マナーアップに取り組みます。

①明るいあいさつ ②元気なへんじ ③はきものそろえ ④校門一礼

・生活規律や授業態度などの乱れについては、保護者会などの開催や保護者と連絡を密にとることにより、生徒一人ひとりの生活面の向上をめざします。

・「真の肥前中学生になろう」（生活面の学校でのきまりをまとめた冊子）を活用します。

## 7 アクションⅡ（家庭学習の習慣化）

・生徒の実態や学校での取り組みを「学力向上だより」で知らせ、連携を図ります。

・家庭での学習習慣が身に付くための手立てを考え、実践します。

・「810運動」（8時から10時までは学習時間）に取り組みます。

・「もくもくタイム」の内容を工夫します。

## 8 アクションⅢ（わかりやすい授業の実践）

・基礎・基本の定着のための小テストを実施します。

・自主学習ノートの効果的な活用について、さらに充実した指導をします。

・定期テスト前の生徒作成によるプレテストの活用を工夫改善します。

## 9 アクションⅣ（進路意識の向上）

・地元の方や本校出身者などの講演会を実施します。

・卒業生（高校生）と語る会を実施します。

## 10 アクションⅤ（小中連携した実践）

・小中連携をさらに充実させ、小中協力して、子どもたちの成長を支援します。

・小中の共通目標を達成するため、保護者・地域の方々に協力をお願いします。

・「真の肥前中学生になろう」を小学校にも配布し、9年間の指導を充実させます。